

2020年4月23日

メビックス株式会社
代表取締役社長 外海 実

Clinical Research 2.0 推進室立ち上げのお知らせ

～デジタル技術を活用して新しい形の臨床研究を創造し、医療の発展に貢献する～

メビックス株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：外海 実、以下、メビックス）は、これまで取り組んできた『e とリアルとの融合』を組織的に推進し、新たなかたちの臨床研究を効率的に支援・提案するために、この度 Clinical Research 2.0 推進室（以下、CR 2.0 推進室）を立ち上げます。

これまで臨床研究は、施設契約から結果の公表までデータ収集やモニタリングなどに多大な時間と労力をかけて実施されてきました。近年では、eCRF が標準となるなどデータ収集の電子化は進み、ウェアラブルデバイスや ePRO など患者アウトカムについても電子化する技術が開発されています。また、より一般的な患者集団における臨床研究実施のため、医療情報データベースなどのビッグデータの利活用に期待が寄せられているものの、欧米諸国と比して日本は、電子化やビッグデータの利活用も遅れを取っている状況です。

そこで、CR 2.0 推進室を立ち上げることにより、メビックスは、疾患領域、規模、試験期間を問わず様々な臨床研究の支援実績から蓄積された研究運営のノウハウや弊社内製 EDC である CapTool®^{*1}に加え、エムスリーグループの有する、28 万人の医師会員を擁する「m3.com」、延べ約 2600 万人分の診療情報データベース「JAMDAS^{*2}」、ヘルスケアプラットフォーム「LINE ヘルスケア^{*3}」、さらに AI×医療のプロジェクトに特化した開発支援事業^{*4} および AI エンジンの開発技術力などのソリューションを融合させ、効率的なデータ収集や新たな技術を駆使した次世代型臨床研究の提案・運営を行い、『e』の力で更なる医療の発展に貢献します。

■ デジタル・AI への取り組み

https://www2.mebix.co.jp/services/digital_ai/

^{*1} CapTool®：メビックスが国内の大学医学部と共同開発し、主に大規模臨床研究でこれまで数多くの研究実績のある EDC(Electronic Data Capture)システムです。本システムはこれまでの実績や取り組みから学び、臨床研究の運用コストを削減すべく業務の簡易化や自動化を行ってきました。さらに、クライアント要望に応える EDC を構築すべく、EDC の価値向上を行っています。

*² JAMDAS：日本臨床実態調査（Japan Medical Data Survey, JAMDAS）は、日本全国の医療現場で起きている実態を正確かつリアルタイムに把握するために、エムスリーが独自に構築した従来にないリアルワールドデータベースです。本データベースにより、薬剤の切替・継続を含む処方状況や、疾患別患者数などをリアルタイムに把握することができます。

*³ LINE ヘルスケア：「LINE」が保有するユーザーベースと、「m3.com」の医師会員および薬剤師会員基盤に加え、エムスリーグループの医療分野における知見やノウハウを生かし、医療 Q&A、オンライン診療、処方薬の宅配など、健康に関する悩みや不安を持つ様々な方に最適な医療をお届けすることを目指した医療プラットフォームです。

*⁴ AI×医療のプロジェクトに特化した開発支援事業：世界中で開発競争が行われている AI 技術を活用した医療機器を、いち早く臨床現場に届けていくことをミッションに 2017 年 4 月に立ち上げた新規事業。AI を活用した医療機器・サービスの研究開発から製造販売承認申請、承認後の販売までを、専門性を持ったエムスリーグループ会社全体で一貫して支援します。

【お問い合わせ先】

メビックス株式会社 CR 2.0 推進室

TEL: 03-4362-4500 E-mail: clinical_research_2.0@mebix.co.jp